

平成 29 年 2 月 22 日

貝塚市議会議長 殿

### 研修会参加・視察報告書

報告者 平岩征樹

参加者 平岩征樹

## JISSEN 自治体政策青年ネットワーク 2016 年第 3 回勉強会

開催日：平成 28 年 11 月 24 日（木）13：00～17：00

会 場：参議院議員会館

### 1、空き家対策 国土交通省住宅局

- ・空き家は 20 年で 1.8 倍 820 万戸に増加。  
（この内、賃貸/売却用を除く住宅が 318 万戸）
- ・大阪府も都市圏だが空き家率の高い都道府県  
（平成 25 年調査 14.8%、全国 17 位、全国平均 13.5%）
- ・空き家対策特別措置法（平成 27 年施行）
  - 除却すべきものは除却、利用できるものは利用
- ・市町村による空き家の活用・除去に対する支援  
平成 29 年予算要求 30 億円、前年比 1.5 倍
  - ただし、これで対策できるのは 318 万戸のうちの極一部
- ・空き家所有者に対する税制上の措置
  - ①固定資産税の特例の解除（空家法に基づく勧告を受けた特定空家が建っている土地については更地と同じ税金をかける）
  - ②相続により生じた空き家を譲渡した場合、譲渡所得から 3,000 万円を特別控除（平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 12 月 31 日に譲渡したものに限り）

### 2、鉄道駅の改修とバリアフリー 国土交通省鉄道局

- ・バリアフリー法に基づいて、利用者数 3,000 人/日以上全ての駅について平成 32 年までにバリアフリー化達成を目指す。
- ・バリアフリー化の主な内容は段差解消、点字ブロック、障害者トイレの整備

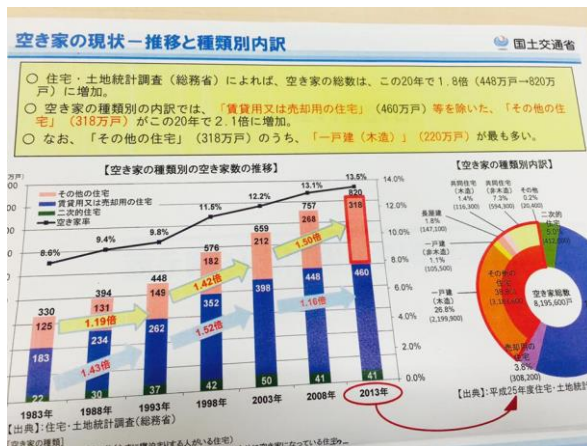
- ・ホームドアについては800駅に設置（利用者10万人/日と視覚障害者からの要望が高い駅を優先）

鉄道政策は利用者数を基準に実施されているので、車社会の地方では国のメニューに手が出せない。

### 3、人口減少社会における自治体の処方箋

講師：宮台真司氏（首都大学東京教授）

- ・正しさだけでは人の心は動かない。
- ・時として面白くないけど正しいことより面白いけど間違っていることの方が受ける。
- ・政治家は正しいことを面白く語る必要がある。
- ・野放図なグローバル化とダイバーシティや格差是正は両立しない。
  - グローバル化の速度を抑制することが必要。
- ・ローカルで顔の見える共同体の再生が必要。
  - 町内の自治＝政治、食の地産地消＝経済



開催日：平成 28 年 11 月 25 日（金）9：30～11：30

会場：RYOZANPARK 大塚

山手線の大塚駅という、東京の中心で「子育て」と「働く」が共生する、シェアオフィス空間「RYOZANPARK 大塚」を視察。実際、リモートワークや在宅ワーク、フリーランスのお父さんお母さんが子どもの近くにしながら働け、シェアオフィスという空間では起業やビジネスチャンスにも繋がっている。しかも、補助金を一切受けていない認可外保育所で、シェアオフィスと組み合わせることによってリーズナブルな料金体系を実現している。行政では絶対ない発想(想定外)だが、今の時代このニーズはかなり多いだろうと感じた。社会があまりに速いスピードで変わっており、社会システムがその価値観になかなか追いつけない状況だが、行政よりずっと時代に敏感な社会起業家の発想はとても参考になるものだった。

